

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	20917	移住交流促進事業	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実現します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います ・都市間との交流や二地域居住、体験移住を積極的に推進し、定住につながります。
	課			2	総務費	分野		4	住宅・公園	実施計画事業				
担当課	企画管理部 地域政策課		内線 2482	項	1	総務管理費	基本施策	1	誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境を整備する	H26実施計画額	17,300	千円		
	目	9		企画費	施策	2		定住への支援						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	移住希望者(都市住民など)	どうしたいのか (意図)	都市住民の移住を促進し、都市住民と地域住民との交流の場を増加させ、移住者の知識、経験等を活かした新たな地域づくりによって地域力の向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	1) 移住総合相談窓口の設置	5) 就業体感ツアーの開催
	対象者数	95 人					2) 都市部でのプロモーション活動	6) 地域資源体感ツアーの開催

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京、大阪、名古屋を中心とした移住(就農)相談会・セミナーへの参加</li> <li>就業体感ツアー、地域資源体感ツアーの充実</li> <li>確実な就農に繋げるため、ネットワーク会議による面接を実施</li> <li>就業体感ツアーでは、新たに林業、木工業に関する体感ツアーを実施</li> <li>新たに、移住情報誌「ターンズ」に情報を掲載(計2回)</li> </ul>							
成果 指 標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	プロモーション活動の開催	回	目標値	15	15	15	15
	算出根拠等	セミナー、相談会開催回数	達成率(%)	実績(見込)	12	7	7	
	活動指標	各種体感ツアーの開催	回	目標値	4	4	4	4
	算出根拠等	就業、地域資源体感ツアー開催回数	達成率(%)	実績(見込)	2	3	4	
	成果指標	プロモーション活動への参加者	人	目標値	200	200	200	200
	算出根拠等	プロモーション活動参加者実績	達成率(%)	実績(見込)	291	94	100	
	成果指標	各種体感ツアーの参加者	人	目標値	80	80	80	80
	算出根拠等	就業、地域資源体感ツアー参加者実績	達成率(%)	実績(見込)	146	47	50	
	成果指標	ふるさと体験施設の利用者	世帯	目標値	40	50	60	60
	算出根拠等	ふるさと体験施設「秋神の家」利用者実績	達成率(%)	実績(見込)	19	55	63	
	成果指標	移住人口(まちなか居住、UJターン分を除く)	人	目標値	60	60	60	60
算出根拠等	移住者実績	達成率(%)	実績(見込)	40	36	40		
補足	・県主催相談会への未参加(体感ツアー等と日程が重複)、就農相談会出席回数調整により、プロモーション活動、セミナー参加者の実績値減							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山への移住の関心が高まるようなセミナーや広告内容とし、移住に結びつける見直しが必要である。</li> <li>参加者、利用者ともに増加傾向にあるが、他の自治体においても移住施策の取り組みが行われているため、今後は、そうした自治体との差別化を図るため独自性を高めた取り組みを構築していく必要がある。</li> </ul>
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>読者の視点に立った広告戦略や他地域や他団体と連携したセミナー等の開催など、独自性を高めた新たな取り組みを行う。</li> <li>ふるさと体験施設秋神の家については、地元団体を巻き込んだ継続的、総合的な管理体制が構築できないか、管理を行う地元団体と検討を進める。</li> <li>移住者のニーズを把握し、取り組みに活かしていく手法を検討。</li> </ul>		
次年度の 実施方針	○維持・改善	維持	
	○拡大	拡大	・移住実践者の声も聞きながら、より効果的なPR策について検討を行う。 ・ふるさと体験施設秋神の家については、地元団体を巻き込んだ継続的、総合的な管理体制による運営を行う。
	○縮小	縮小	・独自性を高めた体感ツアーなどの取り組みを実施。
	○廃止検討	廃止検討	
○維持・改善	維持		
○拡大	拡大	・すでに移住された方の声を聞きながら、より効果的な支援メニューやPR策について検討する必要がある。 ・独自性を高め、他の自治体との差別化を図り、新たな取り組みを検討する必要がある。	
○縮小	縮小	・各種体感ツアーの実施については、参加者のフォローアップを行うなど、きめ細やかな対応により、移住者の獲得に努める必要がある。	
○廃止検討	廃止検討	・独自性を高め、他の自治体との差別化を図り、新たな取り組みを検討する必要がある。	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	16,473	8,075	17,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	411,825	224,306	293,333
	受益者 移住者	(B)	40	36	60

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種セミナー、相談会</li> <li>広告等</li> <li>各種補助金</li> <li>就農移住者短期受入</li> <li>ふるさと暮らし体験施設管理事業</li> <li>就業、移住体感ツアー</li> </ul>	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家助成制度の実績増に伴う増額</li> <li>45才未満の就農者に対する国助成制度の開始に伴う減額</li> </ul>	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政主体でなく、地域等の主体による移住受入環境の整備</li> <li>空き家情報の充実</li> </ul>
------	--	-------------	--	---------------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	17,600	18,493	893	18,200	18,200	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	672	504	△168	514	514		
一般財源	16,928	17,989	1,061	17,686	17,686		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	20960	地域振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして	根拠計画	地域振興計画	市長公約	12 合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域審議会の自主性を活かしたまちづくりを行います。
	課			2	総務費	分野		2	行財政運営	実施計画事業				
担当課	企画管理部 地域政策課		内線 2443	項	1	総務管理費	基本施策	3	地域全体の調和のとれた発展を図る	H26実施計画額	5,000 千円			
	目	9		企画費	施策	1		個性ある地域の連携と協調						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	支所地域の住民	どうしたいのか(意図)	・地域審議会が各地域づくりの主体的な役割を果たし、地域振興特別予算を活用した自主的なまちづくり活動を行う	概要	事業の実施手法(手段)	・地域審議会の地域振興特別予算編成への関与などによる、地域づくりへの参画
	対象者数	28,153 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・地域審議会を開催し、地域振興施策の審議及び地域振興特別予算の編成に参画							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	地域審議会の開催回数	回	目標値	45	45	45	45
		実績(見込)	34	41	45			
	成果指標	算出根拠等	9支所×5回	達成率(%)	76	91	100	
		地域審議会委員の出席人数	人	目標値	500	500	500	500
	実績(見込)	335	408	450				
	算出根拠等	100人(9支所)×5回	達成率(%)	67	82	90		
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域審議会の意義や取り組み、審議内容について、地域住民に周知すること
--------------------------	-------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・平成27年度以降の地域振興のあり方についての検討	
次年度の実施方針	○維持・改善	・平成27年度以降の地域振興のあり方についての検討
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,281	4,033	5,399	7,182
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	114	141	192	255
	受益者	支所地域の住民	(B)	28,875	28,503	28,153

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域審議会の開催、調整 ・過疎関係加盟組織の負担金 ・岐阜県過疎地域自立促進協議会、全国過疎地域自立促進連盟、スローライフまちづくり全国都市会議 ・全国水源の里連絡協議会 ・市町村合併10年式典記念事業開催	要求のポイント	・地域審議会の自主性を活かしたまちづくり ・市町村合併10年を契機とした式典記念事業を開催	事業実施の課題	・特例期間の終了を見据えた、今後の地域審議会及び地域振興特別予算のあり方についての検討
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,399	7,182	1,783	7,395	7,395	・積算内容を精査 ・合併10年記念事業の開催に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0	1,000	1,000		
一般財源	5,399	7,182	1,783	6,395	6,395		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	21420	情報施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	情報化計画	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・地域における情報格差を解消するため、CATV、インターネット等の情報基盤の整備を推進します。
担当課	課長			款	2	総務費		分野	7	情報		実施計画事業		
		企画管理部 地域政策課	内線	項	1	総務管理費		基本施策	1	情報社会の恩恵を享受する	H26実施計画額	0	千円	
			2444	目	14	情報化推進費		施策	1	地域に適した情報通信基盤の整備				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	地域に適した情報通信基盤の整備を行い、ブロードバンドインフラや地上デジタル放送等を市内全域で享受できる環境の実現を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	民間事業者による情報通信基盤整備に対し補助することにより促進する。 ・民間CATV事業者によるCATV事業の展開 ・共聴組合によるテレビ共同受信施設の整備 ・民間通信事業者によるxDSLサービスの展開
	対象者数	92,097					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・共聴組合によるテレビ共同受信施設の整備 3件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	情報通信基盤整備補助件数	件	目標値	1	1	5	1
				実績(見込)	2	3	5	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	200	300	100	
				目標値	113	113	116	116
	活動指標	CATVエリアカバー率	%	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	88	88	88	
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	88	88	88	
				目標値				
	活動指標	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
実績(見込)								
活動指標	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
成果指標	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・CATV未整備地域について、整備展開における説明会の開催と地域住民のニーズを把握しながら、CATV事業者と整備スケジュールを協議。	
次年度の実施方針	維持・改善	・地域間情報格差の解消(CATV、インターネット環境)を図るため、CATVの早期整備に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	・CATV整備については、CATV事業者の経営状況、地域のニーズ、既整備の情報通信基盤の状況等に留意しつつ、早期に実現する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	27,798	6,825	8,100	500,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3,474,750	525,000	35,841	101,338
	受益者	整備完了時加入件数	(B)	8	13	226	4,934

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・CATV未整備地域を解消するための情報通信基盤の整備に対して支援することにより、CATVサービスの地域格差解消を図る。(整備期間2年間) ・一之宮・国府地域においても光ケーブル化を行うことで、CATVサービス内容の地域格差解消を図る。 ・辺地共聴施設地デジ未対応地区については、CATV整備により解消を図る。	要求のポイント	CATV事業者が行う情報通信基盤の整備を支援 ①CATV未整備地域への、光ケーブル幹線整備費 ②一之宮・国府地域においては、幹線の光ケーブル化改修整備費	事業実施の課題	・既に整備した地域を含め、加入者促進が必要
------	---	---------	--	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,100	500,000	491,900	500,000	500,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	8,000		△ 8,000				
一般財源	100	500,000	499,900	500,000	500,000		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	21600	総合交通対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地域公共交通戦略・高山市地域公共交通総合連携計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます ・日常生活における買い物、通学、通院などの移動手段を確保するため、市民の生活を守る公共交通網を整備します。
	課			2	総務費	分野		3	道路・交通	実施計画事業					
担当課	企画管理部 地域政策課		内線	項	1	総務管理費	基本施策	2	公共交通の利便性を高める		H26実施計画額	280,000	千円		
	2445	目		16	総合交通対策費	施策		2	バス交通の充実						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客等不特定多数の公共交通利用者	どうしたいのか(意図)	平成25年度からの本格運行に際し、生活を支える市民の足としての役割はもちろんのこと、観光客をはじめとした高山市を訪れる人々の移動手段として利用促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	便利で利用しやすい公共交通の実現 運行事業者、各種団体等と連携した利用促進事業の実施
	対象者数	人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共交通活性化協議会を開催し、公共交通の見直しについて協議(H24.8、H24.12、H25.1)</li> <li>・バスの実証運行(H24利用者数実績：まちなみバス34,790人、のらマイカー138,821人)</li> <li>・利用促進策の実施(バスの絵の募集・展示、まちなみバスにキャラクターが同乗、HPの2ヶ国語対応等)</li> <li>・調査事業(バス乗降者数調査、バス利用者アンケート調査、意見募集、市民意見交換会・説明会(計29回))</li> <li>・新時刻表・ダイヤの作成</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	路線数		目標値	32	30	30	30
	実績(見込)			32	30	30	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	利用者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	179,882	173,611	180,000	
	1便あたりの利用者数	人	達成率(%)	90	87	90	
成果指標	算出根拠等		目標値	3	4	4	5
			実績(見込)	3	4	4	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・より多くの方が利用できるような必要な改善を行うとともに、利用促進を図る必要がある。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意見を聴取するため、意見募集を実施</li> <li>・久美愛厚生病院の乗降調査による利用状況調査を実施</li> <li>・利用促進策として、各種イベントを実施(小中学生を対象としたポイントカードの配布、バスの絵の募集・展示、まちなみバスにキャラクターが同乗ほか)</li> <li>・中学校3年生に対し高校通学便の案内配布</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証運行をふまえ、平成25年度から本格運行を開始した。利用者数が年々減少傾向にあるコミュニティバスの維持確保のため、利用啓発を行い、利用促進を図る。</li> <li>・利用者を含め市民の意見を聴きながら、ある程度運賃収入が確保できる持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・利用実態の把握・検証により、運行の適正化に向けた見直しやデマンド運行の検討など、利便性に配慮しつつ効率性の向上を図る必要がある。</li> </ul>
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	271,212	218,607	205,535	204,535
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,907	2,354	2,232	2,221
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	高山市コミュニティバス「まちなみバス」「のらマイカー」の運営	要求のポイント	・利用促進策を強化するため、活性化協議会の事業の充実	事業実施の課題	・利用促進策の強化(運賃収入の確保)
------	--------------------------------	---------	----------------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	205,535	204,535	△1,000	204,035	204,035	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	12,000	1,000	△11,000	10,000	10,000		
その他			0				
一般財源	193,535	203,535	10,000	194,035	194,035		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名 種別	21605	JR関連推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	
				款	2	総務費		分野	3	道路・交通			
担当課	企画管理部 地域政策課		内 線 2445	項	1	総務管理費	基本施策	2	公共交通の利便性を高める	実施計画事業	高山本線機能強化事業	H26実施計画額	30 千円
				目	16	総合交通対策費		1	鉄道交通の機能強化				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客等不特定多数の公共交通利用者	どうしたいのか(意図)	高山本線の増便等輸送力強化、リニア中央新幹線整備により、地域の活性化や市民及び観光客等の利便性の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・高山本線強化促進同盟会による要望活動、調査研究 ・リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会による情報収集、調査研究
	対象者数	人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	JR東海、JR西日本への要望を実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	高山本線強化促進同盟会	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・北陸新幹線の延伸に伴い北陸からの観光客を呼び込めるよう、継続して要望を行う必要がある
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・関係団体で構成する同盟会を通して、引き続き鉄道会社に対して要望活動を行う	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・今後も同盟会を通して、鉄道会社に対して要望活動を行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	155	138	162	162
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	1	2	2
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・同盟会活動	要求のポイント	・同盟会活動に要する経費を計上	事業実施の課題
------	--------	---------	-----------------	---------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	162	162	0	162	162	・要求どおり	・財務部査定のとおりに
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	162	162	0	162	162		